

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	25165
事業名	子育てサロン運営費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 子育て支援課			電話番号	011-211-2997
施策名	社会全体が、妊娠期を含めて子どもと子育てを支えています。また					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	育児に対して不安や負担感を抱えながら過ごす親子も多く、子育て家庭がより身近に相談できる場として、常設子育てサロンを中学校区に一つ、地域主体の子育てサロンや児童会館型サロンを小学校区に一つ設置することを目標にしてきた。虐待等の未然防止のため、地域で子育て家庭を見守る環境づくりの推進や、支援内容の充実が不可欠である。
	事業内容(何を実施し)	①週1回児童館型子育てサロン(既存:38館、②週3回児童館型常設子育てサロン(既存:65館)、③ひろば型常設子育てサロン(既存:16か所)、④出張型子育てサロン(既存:3か所)、⑤地域主体の子育てサロン(既存:157会場、124団体、うち助成対象:100団体)⑥まちなかキッズサロンおどりんこの運営 ③の内、1団体は家庭訪問型子育て支援(ホームスタート事業)を試行実施しており、運営費を加算している。(R5年8月から西区において事業拡大し、1団体2区の運営方法を試行実施中)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	子育て家庭の孤立防止や子育てに関する不安や負担感の軽減など、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進する。
	他都市の状況	全国:8, 016か所実施 (※こども家庭庁『令和5年度地域子育て支援拠点事業実施状況』参照)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	262,777 千円	うち特定財源	148,966 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	277,000 千円	うち特定財源	164,124 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	239,067 千円	うち特定財源	153,576 千円	正規職員業務量	1.3 人工
令和6年度予算額	281,000 千円	うち特定財源	167,088 千円	正規職員業務量	1.3 人工

指標	アウトプット活動指標1	子育てサロン設置数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		295か所	288か所	288か所	287か所		
	↓						
	アウトカム成果指標1	子育てサロン利用者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		349,363人	349,363人	417,721人	417,721人		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	常設子育てサロンを中学校区に一つ、児童会館や地域主体の子育てサロンを小学校区に設置済みであり、子育てサロン全体の利用者も増加している。子育てに関する不安や負担感軽減のため、現状の子育てサロン数を維持していく。					
	アウトプット活動指標2	常設子育てサロン設置数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		92か所	92か所	92か所	92か所		
	↓						
	アウトカム成果指標2	常設子育てサロン利用者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		291,841人	291,841人	355,366人	355,366人		
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	常設子育てサロンを中学校区に1つ設置済みであることから、子育てに関する不安や負担感軽減のため、現状の常設子育てサロン数を維持していく。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	多様化する利用者ニーズに対応するため、スタッフの人材育成や支援内容の充実が必要不可欠である。常設子育てサロン実施団体同士の情報交換の場や、スタッフ向けの講習会の実施など、機能強化に向けた検討を進める。